

白杵市 施策評価シート

(令和6年度)

評価 担当課	課名
環境課	

コード	VII-20-46	施策名	ごみの適正処理・減量化の推進
まちづくりの 目標	豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)	施策の方針	環境にやさしい資源が活かされ循環するまちをつくる
5年後の めざす姿	循環型社会の形成を図るため、ごみの減量化や資源化を図る4R(Refuse/リフーズ、Reduce/リデュース、Reuse/リユース、Recycle/リサイクル)を推進します。市民、事業者・各種団体及び行政が連携・協力し、ごみの適正処理を行うことによって、ごみ処理に伴う環境負荷の低減をめざします。		
施策の課題	ごみの減量化や資源化を推進するため、日常生活におけるごみの排出抑制のための「4R運動」を推進するとともに、ポイ捨てや不法投棄をしない、させないよう市民ぐるみで意識の醸成が求められています。また、将来にわたる環境負荷や処理コスト、市民の利便性等も踏まえながら、他自治体との広域処理化に取り組んでいきます。		

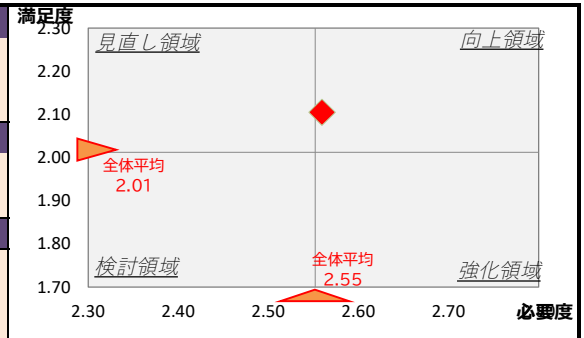
<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	一般家庭からのごみの焼却量	1人当たりの家庭系可燃ごみの年間収集量	目標	kg	/	142.6	142.0	141.4	140.8	140.3
			実績		152.3	155.3	149.3	151.1	146.3	141.7
			達成率	%	/	91.8%	110.3%	108.4%	96.2%	99.0%
	ごみ収集時の分別不良による取り残し件数	白杵市内(白杵地域のみ)の各ステーションで回収時の取り残し実績数	目標	件	/	5,507	5,255	5,003	4,751	4,500
			実績		4,563	3,301	2,833	4,134	4,349	3,541
			達成率	%	/	166.8%	185.5%	121.0%	109.2%	127.1%
			目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					
			目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					
			目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					
			目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					
			目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					

近年の

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	
向上領域	2.56	2.11	
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域	浸透度	88.71%	
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	向上領域	向上領域	向上領域



<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R5年度実績	R6年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	広域ごみ処理事業	白杵地域の可燃ごみ及び野津地域のごみの広域処理	環境課	237,680	238,350	有	概ね順調	強化	貢献度大	○
2	廃棄物処理事業	白杵地域のごみ収集及び清掃センター等施設の維持管理	環境課	161,893	190,685	有	概ね順調	向上	貢献度中	○
3	各種リサイクル事業	白杵地域から発生する各種資源物の処理(資源化)	環境課	63,057	69,370	有	概ね順調	向上	貢献度中	○
4	環境美化活動支援事業	市民主導の美化活動の支援及び啓発	環境課	396	237	無	概ね順調	向上	貢献度中	○
5	広域し尿処理事業	野津地域のし尿等の広域処理	環境課	41,888	27,990	有	概ね順調	向上	貢献度中	○
6	し尿処理事業	白杵地域のし尿等の処理	環境課	40,242	33,108	有	概ね順調	向上	貢献度中	○
7										
8										
9										
10										
合計				545,156	559,740	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

施策の評価 (今後の施策の方向性)

評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る

○ 強化 .. 現状より強化を図る
 ○ 検討 .. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>...評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
向上	市民へ対して、現状で満足することなく、さらなる4R(リデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)・リフューズ(拒否))への取り組みを推進するため、ごみの適正処理・減量化に向けた啓発について、これまでの踏襲だけでなく新たな手法を検討する必要があります。また、ごみの分別不良により回収できなかった取り残し件数が増加しているため、原因の分析とごみ分別の啓発を強化する必要があります。